

高田幼小PTAが全国表彰 ノーテレビ週間にチャレンジ

高田幼小PTAが、11月20日、東京で開催された日本PTA創立60周年記念式典において、「日本PTA全国協議会会長表彰」を受けました。同PTAでは、毎月1日から7日までを「ノーテレビ週間」とし、年間を通して高田小学校が実施している「家族読書」などと連携した家族とのふれあいの時間や生活習慣の改善に取り組んでいます。この活動を推進するため、講演会の開催、のぼり旗の作製・設置、標語の募集などに取り組みました。その結果、テレビ視聴時間が25%減り、逆に図書の出し入れ冊数が4倍に増えるなど顕著な成果がありました。この取り組みは、全町へと広がり、他のPTAの模範として注目され、この度の表彰へとつながりました。



表彰を受ける石原裕二PTA会長

厚生労働大臣表彰を受賞 岩田 貞男さん(上阿井)

岩田さんは、昭和30年に鳥取大学医学部の外科医師として勤務になり、以来、昭和37年に広瀬病院院長、昭和39年から20年余りの永きにわたり、兵庫県公立香住病院院長として、地域中核病院の基礎づくりに貢献されました。昭和60年4月には、地元住民の強い要請に応え、その要職を辞して帰郷され、地域の診療治療はもちろん、学校医、産業医として住民の健康管理や保健衛生指導に尽力されています。その功績に対し、このたびの表彰となりました。



歩みを振り返り新たな発展誓う

創立三十周年・亀高観光文化協会

亀高地区の全戸で組織され、地域振興に取り組む亀高観光文化協会(藤原徳夫会長)が十一月二十三日、亀高温泉「玉峰山荘」で創立三十周年記念式典を開催し、これまでの歩みを振り返り、新たな発展を誓いました。



同協会は昭和五十三年に発足し、地元の温泉開発などを行政に働きかける一方、地域に残された自然景観、文化財の資源整備に尽力されています。昭和五十八年には亀高が舞台となった映画「砂の器」記念碑の建立、玉峰山の山開き・登山などを毎年開催しています。藤原会長は「玉峰山や亀高温泉を核に地域は大きく発展した。これからも地域の観光資源を見直し、郷土愛を高揚させ、次代への再生を図りたい」と挨拶がありました。

半世紀のあゆみ

八川幼稚園・創立五十周年

八川幼稚園が今年創立五十年を迎え、十二月七日、多くの来賓や地域の関係者、園児や保護者など約九十人が出席して、記念式典が行われました。同幼稚園は、昭和三十三年現八川小学校体育館の場所に一年保育の幼稚園として開設。昭和五十六年には、旧八川中学校跡地であった現在の場所に移転改築し、これまで千三百三十一人の卒園者を送り出しました。



式典であいさつする藤原会長

宮田 宏園長は「今日あるのは、先人の皆様の幼児教育に対する熱意とご尽力のおかげです。これからも家庭、地域、幼稚園が一体となって幼児教育を行っていききたい」と挨拶。また、園児にむけて「北京オリンピックに出場された、山本選手も卒園生です。みなさんも、立派な人になって下さい」と園児にエールを送りました。

税について考える
絵はがきコンクールで町内の児童が入賞
雲南地区の小学校六年生を対象に、身近な税について考える「絵はがきコンクール」が、大東税務署や関係団体の主催で行われました。同コンクールには、雲南地区三十二校から五百六十三名の応募があり、このうち二十点が特別賞、六十一点が入選に選ばれました。町内の小学校からもたくさんの方が参加があり、児童たちは作品づくりを通して、税金が身近に使われ、生活に役立つていることを学ぶよい機会となりました。

〈特別賞〉
○大東税務署長賞 菅田桂輔 (三成小)
○島根県東部県民センター 雲南事務所長賞 藤原玲子 (布勢小)
○奥出雲町長賞 田中麻貴 (三成小)
○奥出雲町教育長賞 石原佳樹 (横田小)
○奥出雲町青色申告会長賞 福岡愛富 (三成小)
○雲南法人会奥出雲支部長賞 西村拓馬 (阿井小)

第三十一回西日本六人制ホッケー選手権大会

横田中学校

十一月二十三、二十四日にかけて滋賀県で開催された、第三十一回西日本六人制ホッケー選手権大会において、横田中学校男子チームが決勝戦で糸生中(福井)を二対〇で下し、十五年ぶり二度目の優勝を果たしました。また女子チームは、決勝戦

男子優勝 女子準優勝

で伊吹山中(滋賀)に二対四で敗れ、準優勝となりました。なお、十一月八、九日に福井県で開催された第九回全日本中学校都道府県対抗十一人制ホッケー選手権大会男子の部では、横田・仁多中学校で編成された島根チームが第三位に入りました。



横田中・男子チーム



横田中・女子チーム

紅葉残る奥出雲路を力走

駅伝競走大会に13チームが参加



▲一斉にスタートする選手たち

第五十八回仁多郡・第四回奥出雲町駅伝競走大会が十一月二十三日、役場横田庁舎前をスタート・ゴールに開かれました。町内八チームが競う一部とオープン参加の五チームからなる二部があり、中学生から社会人までが参加し、七区間三十二・八キロで健脚を競いました。選手たちは紅葉の残る峠道や商店街を駆け抜け、沿道からは「がんばれ」、「あと少し」など声援が送られていました。

【成績】

- 一部
- 優勝 三成支部
- 準優勝 阿井支部
- 第三位 布勢支部
- △一部区間賞▽
- 一区 山守宏明 (阿井支部)
- 二区 松原隼斗 (三沢支部)
- 三区 久井洋人 (亀高支部)
- 四区 小村哲也 (阿井支部)
- 五区 長谷川裕政 (三成支部)
- 六区 藤原 誠 (阿井支部)
- 七区 内田直輝 (三成支部)
- 二部
- 優勝 松江市
- 準優勝 島根大学
- 準優勝 TEAM・K